

令和5年度 第3回円福寺愛育園施設見学会

4月30日に第3回円福寺愛育園施設見学会を開催しました。5つの大学短大専門学校から19人の皆さまにご参加いただきました。

ありがとうございます。

その様子は、おもしろい5月号や子どもの近況の写真をご覧ください。社会的養護における中舎制園舎と集团的力動を生かした養育の長所を、子どもたちの姿で分かっていたかと思っております。家庭以上の家庭 大きな家庭の円福寺愛育園の養育をご、子どもたちの姿とともにご理解いただき、今年の応募をご期待申し上げます。

参加者感想

- ★ 私は大学の講義で『現在は里親、小舎制に移行している』ということを知り、小舎制の利点についての情報しかもっていなかった。

今回、円福寺愛育園さんで中舎制についての話を聞き、考え方が変化した。(私は)『里親・小舎制にすれば、子どもの最善の利益が実現する』という言葉に疑問を抱かず、受け入れていた。私は子どもの最善の利益とは、今、心が満たされていることだと思う。それを実現するために必ずしも里親・小舎制である必要はない。むしろ、円福寺愛育園さんのような教育方針であることで、実現することがあると思う。

交流会では、子どもたちの様子から、虐待を受けていたり辛い過去があるようには見えなかった。どこにでもいる子どもたちに見えたし、実際そうなのだろうと思う。それはこの施設で、温かく育てているからだと感じた。歌のプレゼントは感動して、涙をこらえるのが大変だった。

箸ピー対決では、最後チーム関係なく応援していて、短い時間ではあったが、1つになれたように感じた。今回、本当に来てよかったと思う。

- ★ 本日の施設見学会に参加できて、本当に良かったと思いました。最初の園長先生のお話しの『なぜ、中舎制なのか』については、とても考えさせられるものがありました。

形だけ家族にしても、子どもの最善の利益にはならない。今、彼らのしたいことをさせる、遊ばせることが大事なのだと思ふことができました。児童養護施設を選ぶポイントにもなって良かったです。また、藤原さんのお話しも印象に残りました。『子どもに好かれる人』を目指そうとすると、都合のいい職員になってしまう。だから指導も大切で、その指導の仕方も失敗を繰り返しながら、作り直していく、このことを心にとめておこうと思いました。児童の皆さんとの交流はとっても楽しかったです。特に箸ピーは自分では難しかったけど、すごく速い子もいて集中してて、見習いたいと思いました。応援も皆で心を一つにした感じがあって、良かったです。皆、健やかに育っているように見え

たので、日頃の職員の方々の努力の結果なのだろうと思いました。こんな施設で働けたらいいなと思いました。今日はありがとうございました。

- ★ 最初は緊張していましたが、子どもたちと一緒に応援しているうちに、緊張もほぐれてとても楽しむことができました。はしピーは、私の思っている以上に難しく少し大変でしたが、みんなが近くで応援してくれてうれしく思ったのと、みんなで楽しむ大切さを改めて感じることができました。みんな仲良くて雰囲気も心地よく感じたので、とても良い場所でまた機会があれば来てみたいなと思いました。

園長先生のお話を聞いて、共感できる内容が沢山ありました。子どもたちのためにできる最善の方法は、今自分ができることを行動に移すという言葉が、印象に残りました。ないものねだりをするのではなく、小さいことでもいいのでいいので、私も今できることを見つけて実践できたらいいなと思いました。私は円福寺愛育園に来てよかったと思いました。話しかけてくれた子もいたのでとてもうれしかったです。

本日は、本当にありがとうございました。